

中津川市上下水道だより

組織改編について

中津川市水道部は平成31年4月1日に旧生活環境部のうち、環境政策課・環境センター・衛生センター・恵北衛生センターと統合し、環境水道部へと組織改編されました。旧水道部として行っていた上下水道事業のほか、環境や廃棄物管理も含む幅広い業務を行うこととなりました。

中津川市上下水道だよりでは引き続き、地方公営企業である上下水道事業について、どういったことを実施し、経営状況はどうなっているかなどをお知らせできるよう発行していきます。

中津川市上下水道事業経営審議会の開催について

中津川市の上下水道事業の経営の健全化を目指し、今後の経営の在り方についてより広く市民の方からのご意見を伺い、上下水道事業の経営に関する重要事項について、ご審議いただくことを目的とした審議会です。

今年度から委員の定数を15人以内から20人以内に拡大し、有識者、公共的団体等の推薦者、住民の代表者（市内各地区代表者等）で構成し、より公平に各地域からの声が反映できるように体制を整えました。

第1回を7月31日（水）に開催し、委員委嘱、市長から審議会への諮問、水道事業、下水道事業の現状と課題について説明する予定です。

審議内容は市公式ホームページなどでお知らせしていきます。

令和元年度当初予算の概要について

上水道事業・下水道事業（公共下水道事業、特定環境保全公共下水道事業、農業集落排水事業、個別排水処理事業の4事業）の令和元年度の主な予算概要を紹介します。

水道事業

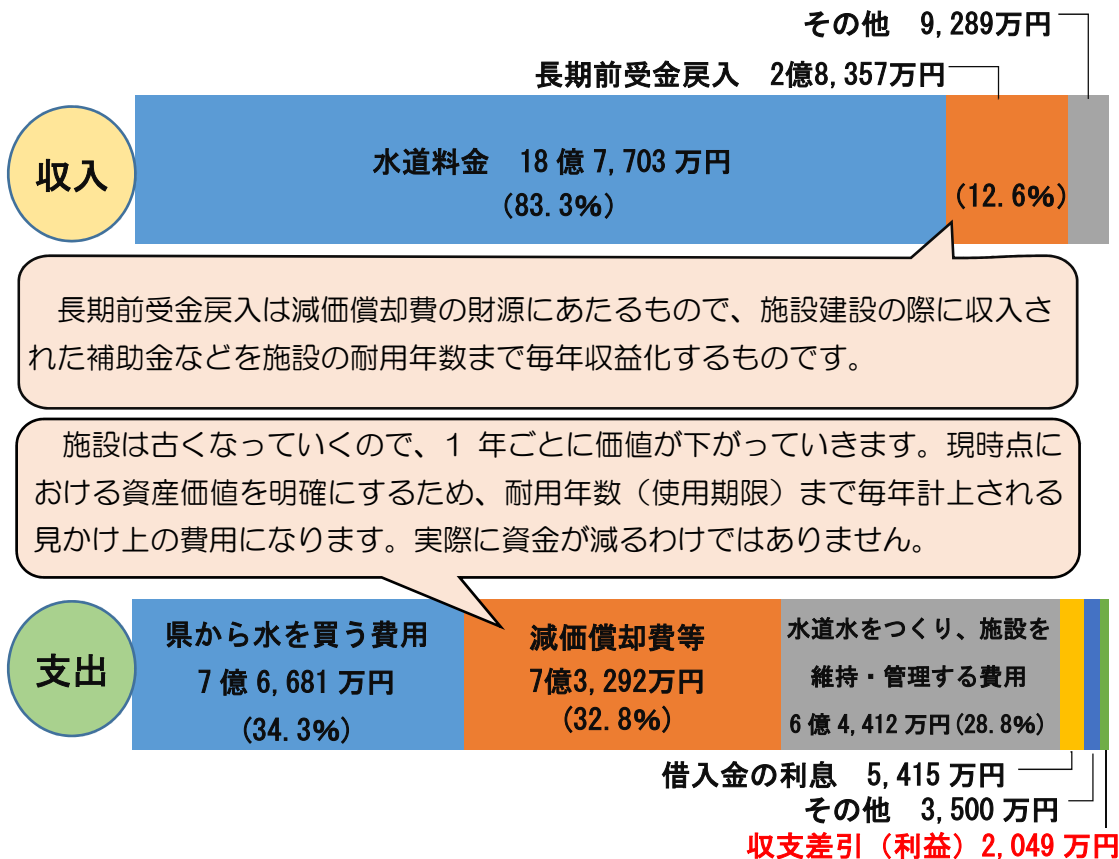
- 配水管の耐震化
安定した給水を続けるため、市内各地の老朽管更新工事及び道路改良等に伴う水道管布設工事について、耐震管を布設します。
- リニア中央新幹線関連受託事業
令和6年度（2024年度）まで車両基地設置に伴う水道施設整備を行います。

下水道事業

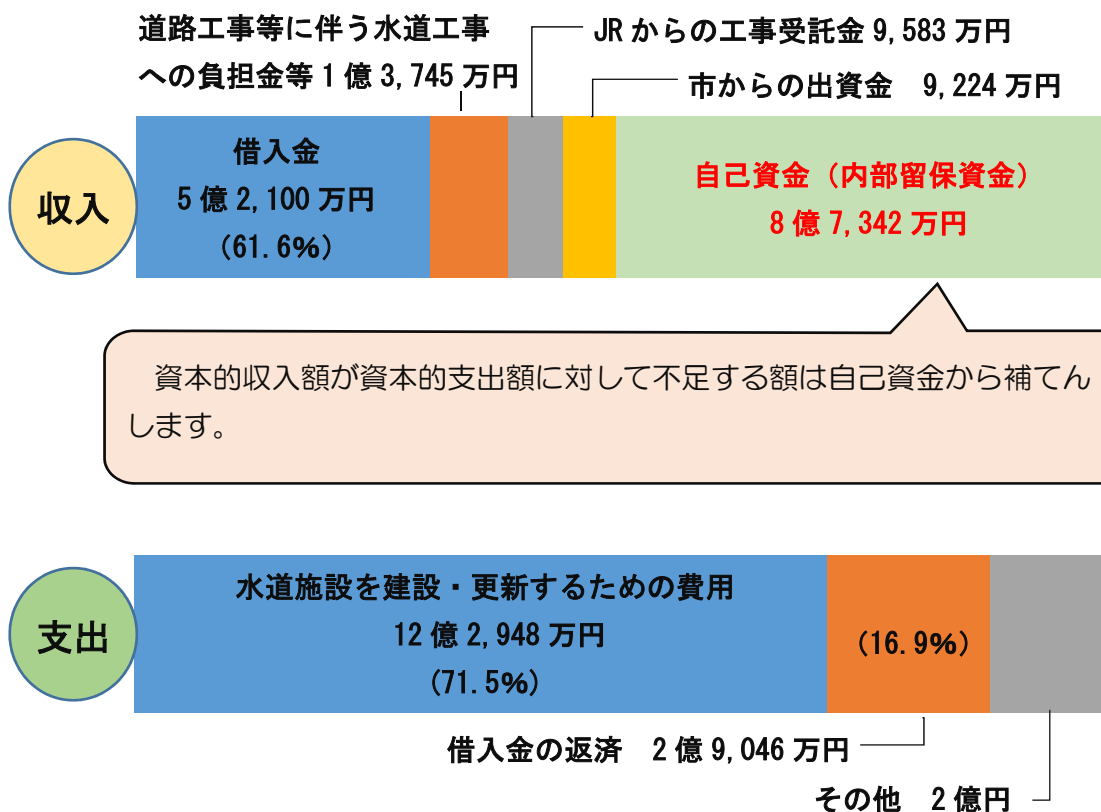
- 坂本処理区の下水道整備
リニア開業に向けて、令和7年度（2025年度）まで計画的に坂本下水道整備工事を実施します。
- 中津川処理区の下水道整備
青木斧戸地区の下水道管渠布設工事を実施します。

水道事業

収益的収支

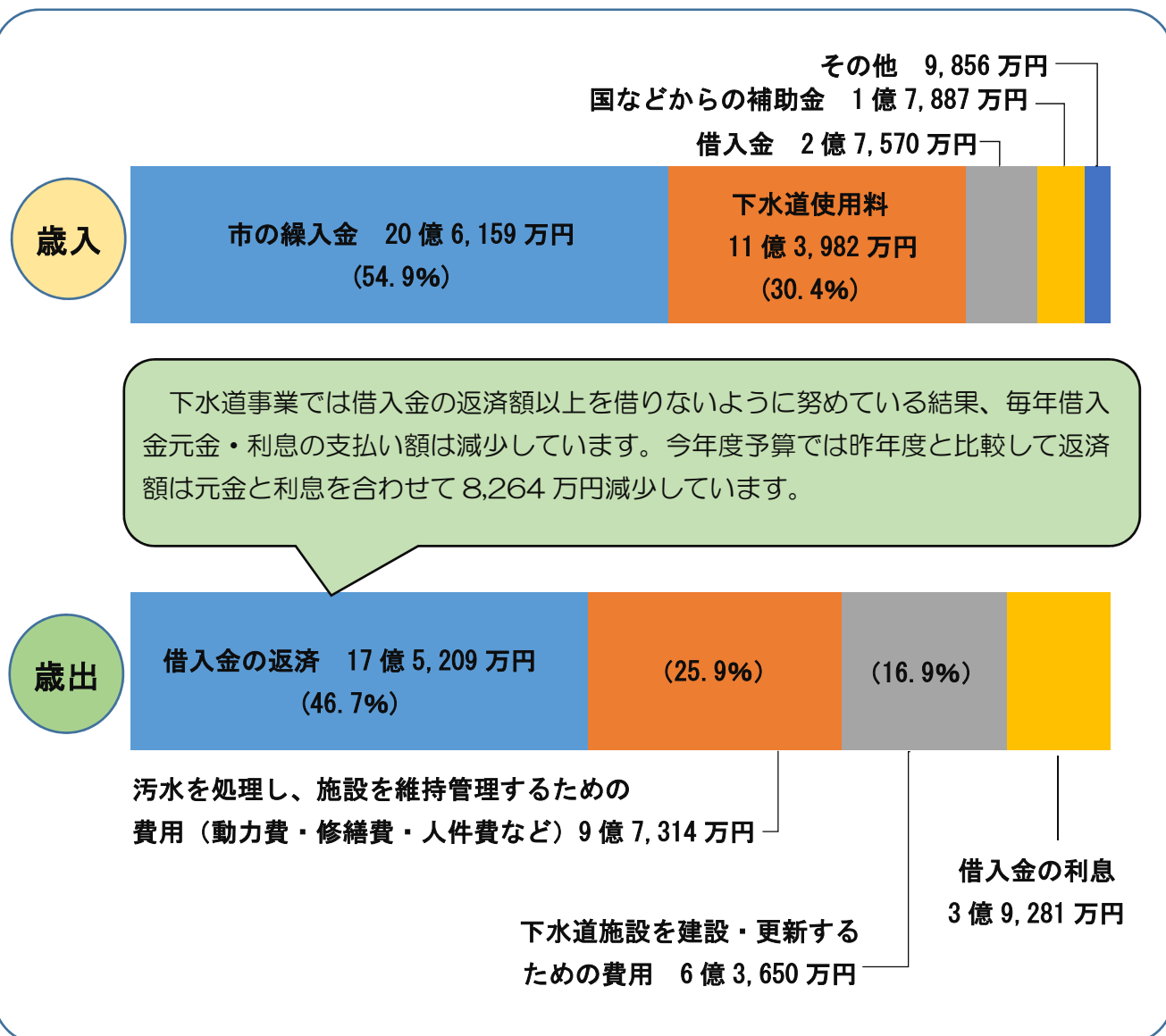


資本的収支



下水道事業

(公共下水道事業、特定環境保全公共下水道事業、農業集落排水事業、個別排水処理事業の4事業)



予算の詳細を確認したい場合は、中津川市公式ホームページで「令和元年度予算」と検索ください。

上下水道事業は整備した施設を利用して収入を得て、その収入により、施設整備・更新を行い、維持管理費などのランニングコストを支払います。今年度も含めてリニア開業に向けて、水道管の耐震化、下水道の整備などに多額の投資が必要になります。これについては、国などの補助事業を活用し、借入額を抑えながら計画的に実施していきます。

水道事業については、今年度、借入金の新規借入額が返済額を上回りますが、借入方法の変更により利息の支払いを最小限に抑えるなど財政的な工夫をしながら設備投資を効率的に進めます。

今後も老朽管の耐震化事業など安全安心で持続可能な上下水道事業の実現に向けた投資は積極的に行いながら、堅実な上下水道事業の運営に努めます。

下水道マンホール紀行～その2～

今回は中津川地区のマンホールを紹介しました。今回は苗木地区のものを紹介します。

苗木地区マンホールデザイン

苗木城は赤壁城の別名があり、城壁は漆喰ではなく、赤土がむき出しとなっていたと伝えられます。伝説では木曾川に住む竜が白色を嫌い、何度漆喰を塗りなおしても嵐を起こして、はぎ取ってしまったことよるとされています。

この伝説にちなみ、苗木城と木曾川の霧の中に龍が舞う姿が描かれています。デザインは、平成5年に一般公募で決まりました。



中津川市水道に関するアンケート調査結果について～その3～

平成28年度に行ったアンケート結果について、今号では次の2つを紹介します。

<p>Q1. 水道事業が税金ではなく、水道料金によって運営されている（独立採算制である）ことを知っていますか？</p>	<p>Q2. 中津川市が取り組んでいる施策の中で、今後何に力をいれるべきと考えますか？選択肢から最大3つまで挙げてください。</p>																																
<table border="1"><thead><tr><th>回答</th><th>割合</th></tr></thead><tbody><tr><td>知っている</td><td>59%</td></tr><tr><td>知らない</td><td>39%</td></tr><tr><td>無回答</td><td>2%</td></tr></tbody></table> <p>「知っている」とされた方が59%となり、過半数の方が水道料金で運営されていることをご存じでした。</p>	回答	割合	知っている	59%	知らない	39%	無回答	2%	<table border="1"><thead><tr><th>施策</th><th>割合</th></tr></thead><tbody><tr><td>老朽化施設の更新</td><td>23%</td></tr><tr><td>水道施設の耐震化</td><td>17%</td></tr><tr><td>水質の向上</td><td>13%</td></tr><tr><td>財政の健全化</td><td>10%</td></tr><tr><td>コストの縮減</td><td>11%</td></tr><tr><td>業務の効率化</td><td>6%</td></tr><tr><td>情報公開の充実</td><td>4%</td></tr><tr><td>環境への配慮</td><td>7%</td></tr><tr><td>水圧の適正化</td><td>2%</td></tr><tr><td>水道技術の向上</td><td>4%</td></tr><tr><td>その他</td><td>3%</td></tr></tbody></table> <p>上位3項目は、老朽化施設の更新23%、水道施設の耐震化17%、水質の向上13%です。</p>	施策	割合	老朽化施設の更新	23%	水道施設の耐震化	17%	水質の向上	13%	財政の健全化	10%	コストの縮減	11%	業務の効率化	6%	情報公開の充実	4%	環境への配慮	7%	水圧の適正化	2%	水道技術の向上	4%	その他	3%
回答	割合																																
知っている	59%																																
知らない	39%																																
無回答	2%																																
施策	割合																																
老朽化施設の更新	23%																																
水道施設の耐震化	17%																																
水質の向上	13%																																
財政の健全化	10%																																
コストの縮減	11%																																
業務の効率化	6%																																
情報公開の充実	4%																																
環境への配慮	7%																																
水圧の適正化	2%																																
水道技術の向上	4%																																
その他	3%																																

水道事業は地方公営企業法に基づき、独立採算で運営されています。ただし、公共性の高い事業であるため、利潤第一で運営されることはありません。事業で得られる利益は将来の施設更新に充てられ、安定した水道の供給を実現することで皆様に還元されます。

何に力をいれるべきかという問いに対して、上位3項目に挙げたものについては、管路更新・耐震化を計画的に進め、持続可能で災害に強い水道事業を目指します。

水質の向上については、随時検査を行ない、安心して飲める水道水の供給を行ってまいります。また、配水池等の計測機器の更新についても、計画的に行い、塩素濃度や水質を適正に管理していきます。